

高性能ゴアテックス生地を採用で、 濡れない、蒸れない、冷えない、「レインベルデN®」



防水透湿素材として最高水準のゴアテックス生地を使用

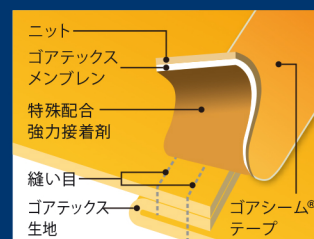
ゴアテックスは、「濡れない、蒸れない、冷えない」を実現する、防水透湿素材として最高水準の生地です。防水耐水性、透湿性、撥水性、防風性が非常に優れており、ハードな環境にも耐えることができます。洗濯耐久性にも優れているため、初期の防水透湿性能を長期間維持します。

ゴアテックスの特長

■ 高い耐水性で雨が漏れない

ゴアテックス生地は雨や水を通しません。また、ゴアシーム®テープにより、縫い目からの雨の浸入もしっかり防ぎます。(下図参照)

■ 雨の浸入を防ぐシームテープ

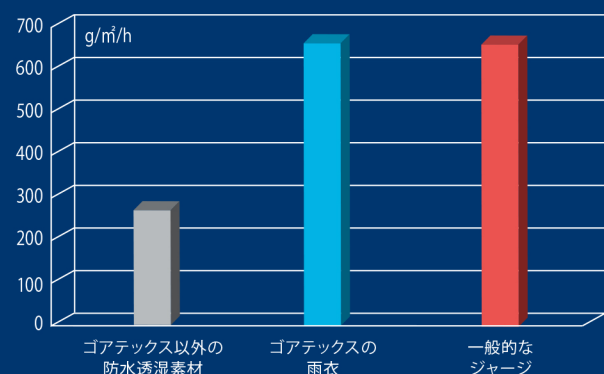


雨衣を縫製する際に避けられないのが、縫い目ができることです。防水構造ではないウエアはここから雨や水が浸入し、体を濡らしてしまいます。レインベルデN®は、その縫い目の裏側をゴアテックス生地と同じゴアシーム®テープでしっかりと目止めをし(シーリング)、ウエア全体を防水構造にする独自の製法で作られます。

■ 高い透湿性で蒸れにくい

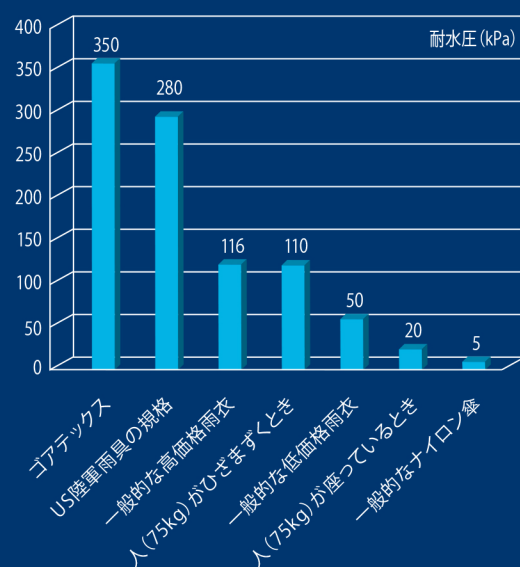
人は、体温調節のために絶えず汗を出し発散しています。ゴアテックス生地は10,000g/m²・24h以上の透湿性です。これは、大量に汗をかくことが前提のジャージと同等の性能です。蒸れにだけでなく、たまった汗がウエア内で結露により冷えて体から熱を奪うことも防ぎます。

■ ゴアテックスの透湿性はジャージタイプのトレーニングウエアと同等



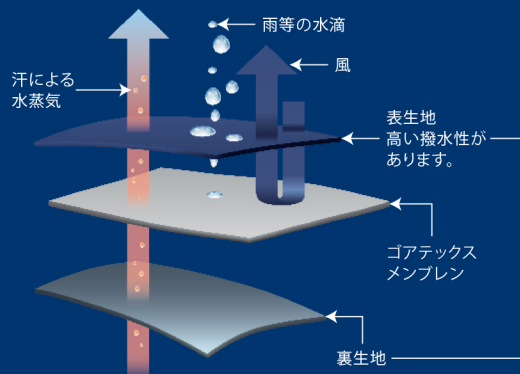
ランニング時の発汗量は約1,000g/h。レインベルデN®はゴアテックス生地を約3m²使用しているため、製品としての透湿量は3倍の約1,800g/h。

■ 耐水圧(初期値)の比較



※耐水圧は初期値だけでなく、洗濯・経年劣化などによる耐水性の劣化も考える必要があります。

■ ゴアテックス生地の構造図

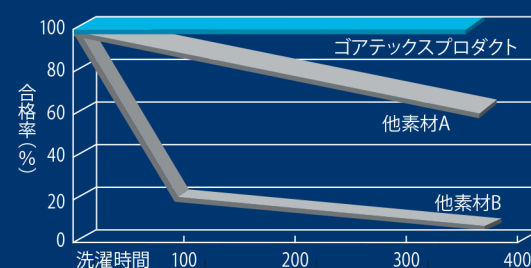


最高水準の防水性と本来相反する高い透湿性を併せもっていることが、ゴアテックスの特長。

洗濯機での洗濯が可能。長年着られてイヤーコストは安い

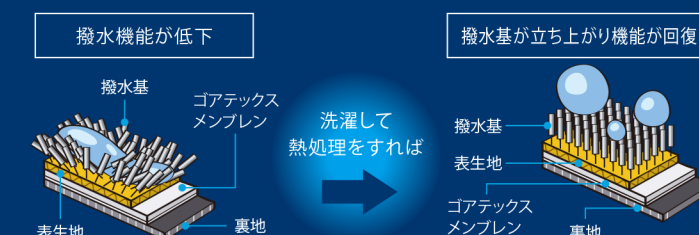
手洗いが一般的な防水素材と違い、ゴアテックスウエアは、家庭の洗濯機で洗えます。ドライクリーニング(石油系)もできます。洗濯などで表面の汚れを落とした上で、低温のアイロン掛けといった簡単な熱処理で撥水性を復活させることができます。長年にわたり着用できるので『イヤーコスト』を比較すれば高くないと言えます。

■ 洗濯耐久性の比較



ゴアテックスは洗濯耐久性に優れ、頻繁な洗濯でも初期の防水・透湿性能を長年にわたり維持し続けます。

■ 撥水機能のイメージ

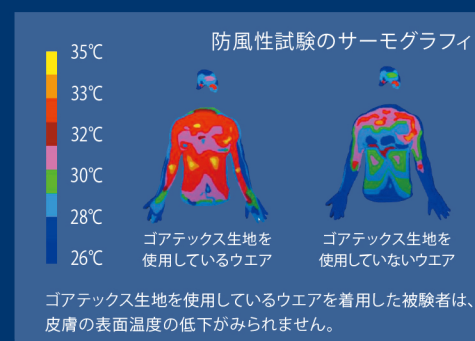


■ コスト比較「イヤーコスト」を比較すれば高くない

	防水透湿素材の レインウエア	レインベルデN® 標準仕様
1年目	18,000円	48,000円(標準価格)
2年目	↓	
3年目	18,000円	
4年目	↓	
5年目	18,000円	↓
5年あたりコスト	54,000円	48,000円
イヤーコスト	10,800円	9,600円

洗濯の注意点
家庭用洗濯機で水洗いが可能です。洗濯用ネットに入れて中性洗剤をご使用ください。脱水はできませんので陰干ししてください。乾燥機(70℃以下)の使用は可能です。

冷えを防ぐ優れた防風性



冷たい風がウエア内に入り込むと温かい空気を服外に追い出し体温を低下させます。ゴアテックス生地は防風性がきわめて高く、悪条件の中でも冷えを防ぎ心地よい作業環境を実現します。

防寒用インナーを装着すれば防寒服として使える

オプションの防寒用インナーを装着すればオールシーズン着用可能。レインベルデN®の高い防風性と防寒用インナーで防寒服にもなります。



上衣／ファスナーとボタンで着脱



下衣／ボタンで着脱